

1 はじめに

会員の皆様方におかれましては、校友会活動へのご理解、ご協力に対し、紙面をお借りして感謝申し上げます。

さて、今年度は、地球温暖化が進行するなかでの記録的大雪、まさかの竜巻発生、大型台風の直撃等、想定外の災害により県内各地は大きな被害を受けました。災害に対する備えの難しさ、対応の難しさを実感させられたできごとでした。

その一方、明るい話題として、2020年の東京オリンピック招致が決定し、県内でも一部の競技が行われることになりました。今こそ、我々土木技術者の腕の見せ所とも言えるのではないのでしょうか。

また、平成27年には、本校友会も記念すべき50周年を迎えます。

本校友会の財産は、民間、行政の垣根を超えて、また先輩、後輩の世代を超えて、情報交換や技術の研鑽ができることであると思います。校友会活動がより活発に行われるように、皆様方のご意見を伺いながら、事務局一同、知恵を絞ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

ところで、大変うれしいニュースがありました。小池久顧問が、昨年春の叙勲に際し、瑞宝小綬章を受章されました。小池顧問のますますの御健康と御活躍をお祈り申し上げます。

2 平成25年度の活動状況

○大学本部関係

6月28日に日本大学理工学部校友会通常総会が開催されました。

○幹事会 平成25年7月10日(水) (於) 埼玉会館

幹事さんにお集まりいただき、平成25年度の名簿作成と会費の徴収をお願いすると共に、平成24年度事業計画と平成25年度事業計画(案)について説明いたしました。出席者は24名でした。

○役員会・幹事会 平成25年9月18日(水) (於) 埼玉会館

役員と幹事さんにお集まりいただき、平成25年の総会議案(事業計画、予算、決算及び役員の改選について)を御審議いただきました。出席者は23名でした。

○平成25年度総会及び講演会 平成25年10月19日(土) (於) ときわ会館

総会



講演会



御来賓として理工学部から野村卓史先生、工学部から堀井雅史先生、日本大学校友会埼玉県支部の堀部和政様をお招きし、母校の状況などにも触れていただいた御挨拶を頂戴いたしました。総会は51名の会員に出席をいただき、24年度の事業報告と決算、25年度の事業計画と予算及び役員の改選を審議し、原案のとおり承認されました。

総会後は県道路環境課の遠井文大さんから「埼玉県の自転車走行空間整備の取組み」について、御講演いただきました。近年、自転車による人身事故の割合が増加しており、交通取り締まりが強化されるなど、自転車の走行空間整備は注目を集めています。参加者からも多くの質問があり、盛況な講演会となりました。

講演内容は、自動車が普及する以前の80年前には、既に自転車道の設計基準があることや、現在までの自転車レーン設計基準の変遷を辿るなど歴史的な解説がありました。道路は自動車のためだけにあるのではないと、考えさせられる大変興味深いものでした。

また、埼玉県では、「自転車みどころスポットを巡るルート100」の選定や、「まちなか安心自転車レーン」の整備など、きめ細やかな施策に取り組んでいることが紹介されました。

今回の講演で、我々土木技術者は、県民、社会のニーズを捉え、きめ細やかな対応が求められていることを改めて認識させていただく良い機会になったと感じています。遠井さんありがとうございました。

今後も、会員皆様からの積極的な発表を期待しております。どうぞよろしくお願いいたします。

○現地見学会 平成25年12月7日(土) (於) 東京スカイツリー、東京観光汽船、東京ゲートブリッジ
今年度は、東京スカイツリー、東京観光汽船(水上バス)、東京ゲートブリッジを見学しました。



東京スカイツリーより隅田川・東京タワーを望む

①東京スカイツリー

東京スカイツリーは、2012年に開業した電波塔兼展望施設です。見学会の前日に開業1年半で来場者が1,000万人を超え、話題になりました。最上部までの高さは634mで、世界一高いタワーです。一般来場者は高さ450mの展望回廊まで行くことができます。当日は、天気も良く360度の大パノラマを望むことができました。その後、昼食は浅草の雷門近辺にて和定食に下鼓を打ちました。

②東京観光汽船(水上バス)

浅草から台場まで東京観光汽船(水上バス)で移動しました。11種類の形式の船が運航していました。隅田川を下る際は、吾妻橋や清洲橋といった12の様々な形式の橋を間近に見ながら、一行は橋梁の話題で盛り上がり、水辺空間を堪能しました。途中、日の出棧橋にて船の乗り換えを行い、台場に到着しました。

③東京ゲートブリッジ

台場からはバスで東京ゲートブリッジに移動しました。東京ゲートブリッジは、東京港で増大する物流の円滑化を図り、一般国道357号など臨海部の渋滞緩和のため大田区と江東区を結ぶ道路の一部です。橋梁形式は、連続トラス・ボックス複合構造橋で、橋長2,618mの4車線の構造です。羽田空港が近いため、橋の上空を飛行機が飛行するロケーションでした。



東京ゲートブリッジを望む

今年度の見学会参加者は70名でした。見学会では、会員の技術の向上だけでなく、会員やそのご家族も含めた親睦を深めていただくことが出来た、と考えております。大変多くの御参加ありがとうございました。